

●適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫 (雑草)名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	石灰窒素を含む 農薬の使用回数
野菜類 いも類	ネコブセンチュウ	50~100kg	播種前 または 植付前	1回	土壌混和	-
	畑地一年生雑草	50~70kg			耕起前全面散布	
水稲	アメリカザリガニ	25~50kg			土壌混和	
	ユリミミズ	40~60kg			耕起前全面散布	
	水田一年生雑草	50~70kg	稲刈後全面散布			
	ノビエの休眠覚醒	40~60kg	水稲刈取後 一週間以内			
	スクミリンゴガイ	20~30kg	植代前		荒起こし後3~4cm に灌水し、3~4日後 全面に散布、3~4日 放置後植代を行う。 (漏水を防止すること)	
桑	カイガラムシ類	温湯10ℓ当り 400~800g	7月下旬~ 10月上旬		上澄液を株又は枝条の 基部に散布する。	

●キャベツへの施肥例

施肥時期	目安の施肥量(kg/10a)	備考
元肥 播種、根付及び再播種、 植付2週間前施肥	50~60kg	土壌と充分混和する。
追肥 播種、植付3週間後を 目安に施肥	40~50kg※	播種後10cm~15cmの高さに成長したキャベツ苗 又は小さなキャベツの生育始めに良い。 定植活着後施肥

※キャベツの生育施肥は、葉の表面が乾燥している時に粒状ペルカを施肥してください。

※地域・生育状況により散布時期が異なることがあります。

●ペルカの肥料登録内容

粒状ペルカ	保証成分量 窒素全量19.5% 内硝酸性窒素1.5% (肥料登録上混合窒素肥料に該当するため、アルカリ 分の保証は不要です。分析の結果では52%以上含有 しています。)
-------	--

●使用上の注意

- ・使用前にラベルをよく読んでください。
- ・農薬としてご使用になる場合には、包材裏面に記載されている「適用病害虫・雑草の範囲及び使用方法」、使用上の注意事項等を守って使用してください。
- ・ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ・本剤は小児の手届く所には置かないでください。
- ・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。
- ・散布後24時間以内は飲酒しないでください。

粒状石灰窒素 ペルカ®

Calcium Cyanamide



農薬・土壌改良材の効果も期待できるドイツ産肥料。



✓長く肥持ちの良い緩効性窒素質肥料
(法令により、石灰窒素が肥効調節型肥料として規定されています。)

✓根の生育活力の増進

✓土壌の肥沃化の促進

✓連作障害の回避

✓雑草の軽減

✓酸性土壌の改善

農薬登録 第16636号、第16637号
肥料登録 外第2号、外第3号

栽培・生産の現場ではっきりと効果を実感！水稲から葉物まで幅広くカバーしつつ栽培期間の長い作型に好適な肥料です。



詳しくは中面をご覧ください。

製造元

alzchem
group



輸入販売元

MEIKYO 明京商事株式会社
MEIKYO TRADING Co.,Ltd.

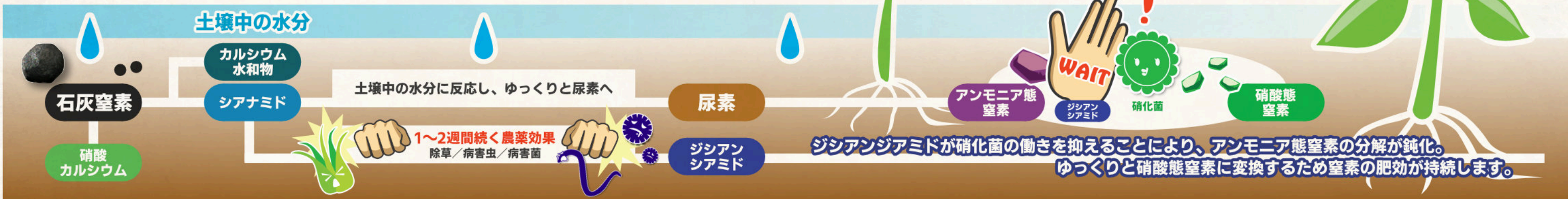
〒101-0047
東京都千代田区内神田1丁目14番6号 福利久ビル7F
TEL 050(3502)9619(代表)
FAX 03(5217)1411
<https://www.meikyo-shoji.co.jp/>

日本語版ペルカWEBサイト



<https://perlka.jp/>

効果が分かる。ゆっくりと、長く効く。



除草効果 シアンアミド

シアンアミドは雑草の根や葉から吸収された後、植物体の成長を阻害します。とりわけ発生直後の一年性雑草に効果的で、キャベツ定植後の圃場管理を助けます。このため除草剤/草取りなどの負担軽減が期待できます。

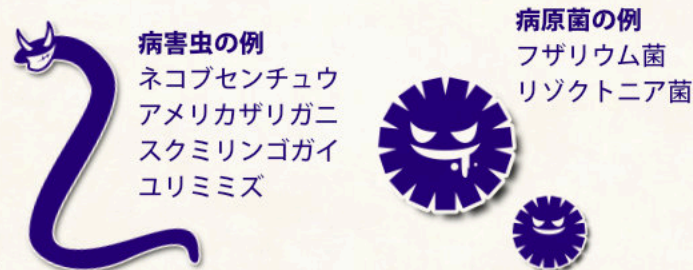


慣行区:除草剤なし

試験区:定植16日後にペルカ 100kgN/ha施肥、除草剤なし (Innnoventis, 2001年)

防除効果 シアンアミド

農薬効果を持つシアンアミドは土壌にいる病害虫の忌避効果も持っています。特に根菜類の生育に影響を及ぼすネコブセンチュウ、水稻において近年被害が拡大しているスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)に対する有効性があります。また農作物の腐敗の原因となる病害菌を殺菌する効果により、土壌の微生物環境の改善につながります。



肥料効果 硝酸カルシウム アンモニア態窒素 硝酸態窒素



ペルカには硝酸カルシウムが添加されており、施用後すみやかに硝酸態窒素を供給、農作物に吸収されます。

※詳細は「ペルカならではの造粒のこだわり」をご覧ください。

また、アンモニア態窒素を硝酸態窒素に分解する土中細菌の活動を抑制するジシアンジアミドの効果により、窒素が流亡しにくい状態で圃場に長い期間残ります。

このため、一度の施肥で長く窒素の肥料効果が発揮できます。

土壌酸化の抑制効果 カルシウム水和物

アンモニア態窒素ベースの窒素肥料は土壌を酸化させる傾向があり、別途石灰肥料を投入し酸度を調整する必要があります。ペルカはアルカリ分52%以上含有しておりますので酸性土壌を矯正し、土壌微生物の増殖を盛んにします。ペルカを施肥することで作物の根張りがよくなりあらゆる栄養素の吸収が改善され、健康な作物に育ちます。

堆肥/残渣の腐熟効果 硝酸態窒素

窒素含量の高いペルカを牛糞/鶏糞などの堆肥の腐熟、収穫終了後の残渣の腐熟に合わせて用いることで有機物の分解を行う微生物の働きを助けます。また、腐熟の際に発生する病原菌の活動を抑えることにより、圃場における堆肥・残渣からの病害発生リスクを低減。堆肥の投入や輪作時の作業工程の不安を解消します。

自然原料から作られる石灰窒素

石灰窒素は1895年にドイツ人の科学者2名が世界で初めて開発に成功しました。石灰窒素の母国であるドイツのAlzChem(アルツケム)社が製造する石灰窒素は真珠(パール)の様な粒形からパールカルシウムシアンアミドと名付けられ、「ペルカ」のブランドネームでヨーロッパ、日本を始め世界各国に輸出販売されております。



ペルカができるまで

石灰窒素のもととなるのは石灰、石炭、大気窒素。天然の素材と化学の知識を活用して製造されています。



ペルカならではの造粒のこだわり

石灰窒素ペルカはPearl Calcium Cyanamide(真珠の様な石灰窒素)からネーミングされているように粒形が揃っており、粉塵が出にくく、長期間に渡って窒素の肥効が持続するのが特徴です。

仕上げ段階で粒形を整えるために硝酸カルシウムを添加。作物が速やかに吸収する硝酸態窒素を施肥後すぐに供給することが可能なだけでなく、粉塵が舞わないことで作業時に誤って吸い込む事故や、臭いに対する地域からのクレームなど安全面にもメリットがあります。

またこの特性によりあらゆる撒き方に対応できます。

選べる撒き方で柔軟に作業

手動散布機やスプレッダーなど方法を問わず散布することが可能です。



粒径の97%が1.0-3.55mmに収まる粒度分布となっており、撒きムラや粉塵の発生を抑えることができます。

活躍するタイミングいろいろ!

元肥/追肥* 除草/防除/施肥
収穫後/緑肥後 緑肥・残渣・堆肥の腐熟

※根が浅いものなど、作物によっては追肥使用が適さない場合があります。